

四谷大塚	4年							
	算数							
学習内容	1回 かけ算とわり算の文章題 2回 計算のきまり 3回 角の性質							
家庭学習ポイント	2月の4年生は「かけ算とわり算の文章題」「計算のきまり」「角の性質」を学びます。毎週次々と新しい単元を学習します。どの単元も今後の受験勉強において大切なものばかりで、内容も多くなっています。毎週新しい大切な単元を学ぶ上、テキストの1回（1単元）の内容が多いです。また、予習シリーズは基本問題と練習問題の難易度の差が大きくなっています。基本問題はスラスラでできて、練習問題でつまずく可能性があります。そのため、はじめから全部終わることを重視してしまうと、結局すべてがあやふやなまま終わってしまう可能性があります。まずは予習シリーズの基本問題、それが完全に理解できたら演習問題集の反復問題、そしてそれもできるようになったら予習シリーズの練習問題と、少しずつ階段を上がっていくように学習してみてください。予習シリーズの問題レベルはかなり高くなっていますので、4年生からの通塾であれば、4年生の段階では、まずは基本問題を完全理解することを重視しましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	基本的な計算のきまりを理解できていますか？						チェック
	解決策	＋・－・×・÷や（ ）＜ ＞などの順、特に逆算の順は要注意ですね						☐
	チェック2	工夫して計算することができていますか？						チェック
	解決策	25×4＝100 や分配法則の利用をしっかりと身につけたいですね						☐
	チェック3	末尾に0が並ぶ数をかけるとき、0以外を計算するなどしていますか？						チェック
	解決策	わざわざかけることなく、答えに0をつけるといいですね						☐
	チェック4	対頂角（向かい合う角）、同位角、錯角（Z角）が等しいことを理解していますか？						チェック
	解決策	自分で平行線を書いて、それぞれの関係の角を探す練習してみてもいいですね						☐
	チェック5	新しい一週間の学習スケジュールができましたか？						チェック
	解決策	お子さんと相談しながら決め、ブラッシュアップしていきましょう						☐
四谷大塚	4年							
	国語							
学習内容	1回 物語・小説（1）/場面① 日本語の文字・五十音図/和語① 2回 物語・小説（2）/場面② かなづかい/慣用句① 3回 説明文・論説文（1）/話のつながり① 送りがな/熟語の組み立て							
家庭学習ポイント	第5回まで物語・小説で場面と人の気持ち、説明文・論説文を題材に、つながりのことば、要点となることば、指示語、といった重要な読解ポイントを学習します。知識分野では、かな遣いや送りがな、漢字の成り立ちや国語辞典の使い方といった、今後の国語力の向上に大きく関わる分野を学習します。「物語文、説明文はそれぞれ何に気を付けて読むのか」をしっかりと意識しておかないと、文種の違いから解答に手間取る可能性があります。特に上位クラス帯のお子さんは、予習シリーズのみでは分量不足になる可能性があるので、演習問題集や応用演習問題集を活用し、読解や記述問題に触れる機会を増やすことも考えましょう。各章の学習単元は、どれも今後、国語のテストで得点していく上で、それ以上に「文章」を正確に読んでいく上で、非常に重要になるものです。予習シリーズ各章の冒頭の説明、解答・解説は完成度が高いので、これを活用してポイントを学び、得点につなげましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	物語文の登場人物の気持ちを的確につかめていますか？						チェック
	解決策	「このとき〇〇（登場人物）はどんな気持ちだったのかな」と質問してあげましょう						☐
	チェック2	物語文の読解では、シーンを映画のように思い浮かべていますか？						チェック
	解決策	「映像化」という物語文では定番の読解法です						☐
	チェック3	論説文の読解において、事実と筆者の考えを読み分けていますか？						チェック
	解決策	印をつけながら読んでいってもいいですね						☐
	チェック4	「読書しないから国語は苦手」と決めつけていませんか？						チェック
	解決策	国語のテキストで素材文を読むだけで、かなりの読書量になります						☐
	チェック5	国語の週間学習サイクルができましたか？						チェック
	解決策	「授業から帰ったら短時間復習」「宿題演習は授業と別の日」を基本に組んでみましょう						☐

四谷大塚	4年							
	理科							
学習内容	1回 磁石 2回 昆虫 3回 流れる水のはたらき							
家庭学習ポイント	生物分野の「昆虫」、物理分野の「磁石」、地学分野の「流れる水のはたらき」について基本事項を学びます。磁石については磁力線、昆虫についてはその特徴やなかま、流水については3つにはたらきと地形の関係などについて学習します。磁石については、磁石の性質を理解するだけでなく、磁石を切断した場合などについても理解しておく必要があります（模試や入試問題としても「定番」の問題ですね）。昆虫のところでは、その定義をあいまいにしてしまうと危険です。たとえばクモは昆虫ではありませんが、テストの問題の選択肢の1つにクモの絵があり、問題が「さなぎにならない昆虫をすべて選びなさい」といったものだとすると、ついいうっかり「さなぎにならない」という意味でクモまで選んでしまうお子さんが出てきます。まずは昆虫であるものとそうでないものを、しっかり区別することが必要です。「流れる水のはたらき」に関しては、まず流水の3作用（しん食作用・運搬作用・たい積作用）を押さえ、それによってできる川底の様子や石の様子などを押さえていきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	昆虫の「定義」を正しく答えられますか？						チェック
	解決策	足が6本であること、からだが頭・胸・腹の3つに分かれることなどですね						☐
	チェック2	さなぎになる昆虫（完全変態）をいくつ言えますか？						チェック
	解決策	カブトムシの仲間（甲虫）、チョウ・ガの仲間、アリやハチ、ハエやアブ、カの仲間などですね						☐
	チェック3	棒磁石を折ったときにできる磁極を理解していますか？						チェック
	解決策	残った極の逆側が、残った極の逆の極になりますね						☐
	チェック4	流水の3つのはたらきを答えられますか？						チェック
	解決策	しん食作用・運搬作用・たい積作用ですね。漢字で「体積」と答えないよう注意しましょう						☐
	チェック5	4年生の学習サイクルができてきましたか？						チェック
	解決策	週テスト、公開組分けテストも含め、うまく回るサイクルを考えていきましょう						☐
四谷大塚	4年							
	社会							
学習内容	1回 健康で住みよい暮らし 2回 ものを売る仕事 3回 昔の暮らしと今の暮らし							
家庭学習ポイント	第1回では「健康で住みよい暮らし」として火事や事故に遭遇した時の対処法について学習し、第2回では「ものを売る仕事」という商業がテーマ、第3回「昔の暮らしと今の暮らし」で昔と今の道具の違いを学びます。「健康で住みよい暮らし」では、火事や事故に加え、最近では「台風」や「地震」についても学習します。まだ経験値が少ないお子さんたちには想像が追いつかない可能性があります。親御さんの方で補足などしてあげるといいですね。このような身近なことについて学習する時に、親御さんが何が問題なのか指摘してあげることで理解が深まります。「ものを売る仕事」では、どうすればお客さんが多く集まり、たくさんの利益を出すことが出来るのかを、自分なりに考えてみると分かりやすいですね。「昔の暮らしと今の暮らし」では、昔の道具の不便な点に注目し、その不便さを解消するために様々な工夫がなされ、現在の道具や機械につながっていると理解すればスムーズに頭に入ります。電車への乗車1つとっても、大きな変化の「途中」を駅で見ることができます。きっぷを買って乗車する経験をしてみてもいいですね。							
課題の把握と解決策	チェック1	事故や災害に遭遇した際にどうするか、ふだんから家庭で話し合っていますか？						チェック
	解決策	このような内容が予習シリーズにも掲載され始めたのは、近年の入試問題の変化を反映しています						☐
	チェック2	フードロス、地産地消といった言葉を説明できますか？						チェック
	解決策	スーパーで産地や消費期限を確認したり、上記の言葉について親子で話し合ってみてもいいですね						☐
	チェック3	「バリアフリー」を自分の言葉で説明できますか？						チェック
	解決策	4年生のこの時期の学習は特に、親御さんのサポートが効きます						☐
	チェック4	おもな発電方法について説明できますか？						チェック
	解決策	エネルギー資源高騰などが話題になっていることもあり、親子で考えてもいいですね						☐
	チェック5	4年生の学習サイクルができてきましたか？						チェック
	解決策	週テスト、公開組分けテストも含め、うまく回るサイクルを考えていきましょう						☐